

R8年大豆栽培農事メモ 第3号 (里のほほえみ版)

令和8年8月28日
白山石川営農推進協議会
石川県農業共済組合
松任市農業協同組合

1 生育状況

- 6月上中旬播種ほ場の開花期は、7月20～25日頃。
- 今年の夏も高温となっており、気象の変化に注意し、ほ場の状態にあった管理（かん水・排水）を実施してください。



- 高温による乾燥ストレス軽減のためのうね間かん水や、品質向上に向けた除草対策と生育に合わせた適期防除の徹底に努めましょう。

2 高温乾燥時や強風時は、うね間かん水を実施しましょう！

- 開花期（7月中下旬）～莢伸長期（9月上旬）にかけては干害の影響を受けやすく、ほ場の乾燥が続くと着莢数が減り減収します。

☆うね間かん水実施のポイント☆

- かん水は短時間で行い、ほ場全体に水が行き渡ったら速やかに排水しましょう
- うね間や額縁排水溝と排水口の連結を確認し、手直しを忘れず行いましょう
- うね間かん水は晴天が3～5日以上続いた場合、葉が裏返る前に実施しましょう。湿田ほ場では、土壌状況を確認し、過度なかん水にならないようにしましょう。



3 除草対策・除草剤の散布により雑草の発生を抑えましょう！

※いずれの除草剤も大豆にかかると枯れるため、注意して散布して下さい。

除草剤名	適用雑草名	使用時期 [収穫前日数]	10a 当たり使用量 (希釈水量)	散布 方法	使用 回数
バスタ液剤	一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 [収穫28日前まで]	300～500 mL (100～150L)	雑草 茎葉 散布	3回以内
プリグロックスL	一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 (草丈30cm以下) [収穫3日前まで]	600～1000 mL (100～150L)		4回以内
ラウンドアップ マックスロード	一年生雑草 【非選択性】	畦間処理：雑草生育期 [収穫前日まで]	200～500 mL (通常散布50～100L) (少量散布25～50L)		2回以内

4 的確な防除で収量・品質向上に努めましょう！



高温少雨の気象状況より、カメムシの活動が活発となっていることから、子実肥大期の薬剤防除を的確に行ってください。



(1) 粉剤防除

	生育ステージ	使用時期の目安	使用薬剤名 [収穫前日数]	10a 当たり 使用量	対象病害虫名	使用 回数
3回目	子実肥大後期	8月27日 ～9月5日	トレボン粉剤 DL [収穫14日前まで]	4 kg	カメムシ類、ハスモンヨトウ マシクイガ、 フタスジヒメハムシ	2回 以内
随時	子実肥大後期 以降	カメムシ類多発時	スタークル粉剤 DL [収穫7日前まで]	3 kg	カメムシ類	2回 以内

(2) 液剤防除

	生育ステージ	使用時期の目安	使用薬剤名 [収穫前日数]	希釈倍数 (10a 当たり 使用液量)	対象病害虫名	使用 回数
3回目	子実肥大後期	8月27日 ～9月5日	トレボン乳剤 [収穫14日前まで]	1,000 倍 (100～300L)	カメムシ類、マシクイ ガ、ハスモンヨトウ 他	2回 以内
随時		ハダニ 初発時	ニッソラン水和剤 [収穫7日前まで]	2,000 ～3,000 倍 (100～300L)	ハダニ類	2回 以内
	子実肥大後期 以降	カメムシ類多発時	スタークル液剤 10 [収穫7日前まで]	1,000 倍 (100～300L)	カメムシ類、フタスジヒメ ハムシ、ダ イ ズ サヤマハエ	2回 以内

(3) ドローン防除

	生育ステージ	使用時期の目安	使用薬剤名 [収穫前日数]	希釈倍数 (10a 当たり 使用液量)	対象病害虫名	使用 回数
3回目	子実肥大後期	8月27日 ～9月5日	トレボンエアー [収穫14日前まで]	8 倍 (0.8L)	カメムシ類、マシクイ ガ、ハスモンヨトウ	2回 以内
随時	子実肥大後期 以降	カメムシ類多発時	スタークル液剤 10 [収穫7日前まで]	0.8 倍 (0.8L)	カメムシ類、フタスジヒメ ハムシ、ダ イ ズ サヤマハエ	2回 以内



農薬・除草剤の使用では、使用基準を守り適正に使用し、周囲への飛散に注意するとともに、作業は熱中症予防のため、特に暑い日は無理をしないようお願いします